

# しきゆたか速報

福井No.1単収を目指して!!

No.1 J A 福井県

秋麦の候、田植え作業から約1ヵ月が経過しました。4月の強風の影響により植え痛みにより障害が圃場によっては発生しています。5月上旬から中旬の気温や日射量は平年並みでしたが、全般的に水稻の生育は弱く、進捗は遅延気味です。引き続き、浅水管理を慣行し茎数増加を促しましょう。また、例年ですと梅雨入りは6月14日頃ですが、太平洋高気圧の北への張り出しにともなう梅雨前線の南下の影響により不確実性はありますが本年度は、梅雨入りが遅れるとの報道もあります。

## 1. 品種特徴と収量目標



- ◆ 品種名 : しきゆたか
- ◆ 作型 : 晩生
- ◆ 収量目標 : 660kg/10a
- ◆ R5最多収量 : 760kg/10a

### 【特性】

- 異品種を掛け合わせてできるハイブリッド品種
- 収穫期は、9月下旬～10月上旬

### 【栽培のポイント】

- 穂が長く登熟に時間がかかる(積算温度 1400℃)
- 粒が大きいため未熟粒が発生しやすいため、葉色4.0以下にはしない
- 草丈が非常に高いため、倒伏しないよう茎数管理と水管理が必須
- 適性茎数と早刈り防止が収量増のポイント

- 生育(草丈・茎数・葉色)は、平年より進捗が弱い状況です。

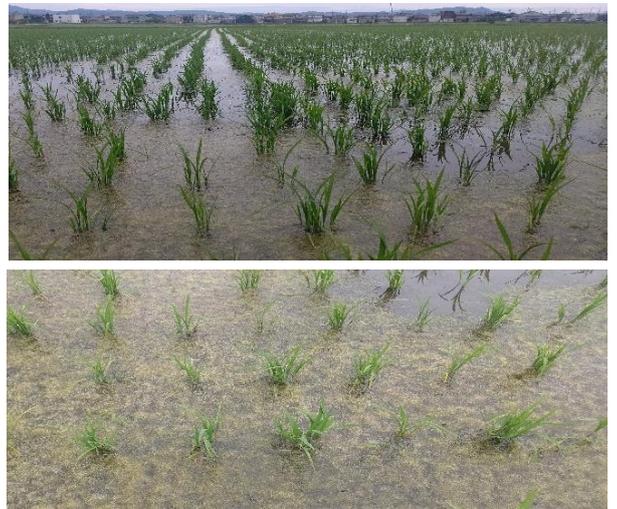
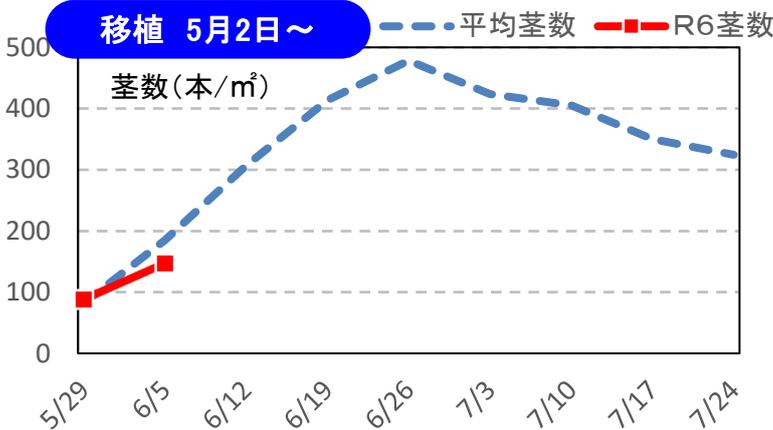
### 【平年比】

- 草丈 : やや短い
- 茎数 : やや少ない
- 葉色 : やや淡い

## 2. J A 生育調査状況 (6月5日現在)

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色
移植	-	26.6	88.3	-	4.0

## 3. 茎数の推移と今後の管理



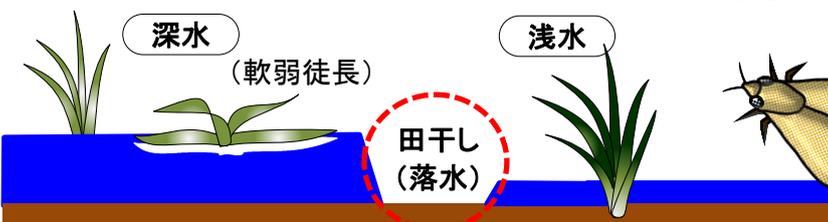
## 4. しきゆたか栽培管理のポイント!

### 移植

- ワキの発生が見られたら、1～2日落水し田干しを行う。

### 直播

- 早期に有効茎を確保するため、浅水管理で分けつを促進を図る。
- 常時湛水状態の圃場で生育徒長が見られます。浅水管理や1～2日落水し田干しを行う。



### ニカメイガ

- 例年ニカメイガの発生の多い地域や登録のある農薬を施用していない場合は防除しましょう。
- 本年の防除適期は、粒剤が6月1日頃、粉剤が6月5日～10日頃です。